



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

コロナ禍での感染症対策・労働と雇用・教育

Q 本市への影響、コロナワクチン接種の現状と今後の予定は？

A 島原市も飲食店など営業時間の短縮要請や、外出自粛で地域経済と市民生活に影響が出ている。ワクチン接種実績及び予約済みは3万793人で80・1%。ワクチンは引き続き国、県へ要望していく。県南保健所管轄の病床数は36床で、9月4日現在で10人が入院している。

Q 中小企業や飲食店への支援対策は？

A 支援事業は、多くの業種に約800件、約1億3千万円を支給した。生活困窮者自立相談は280件と前年度より100件近く増えている。

Q 市職員の過重労働は？また、市職員の将来的労働と生活の保障を守るための「再任用制度」の活用は？

A ワクチン接種業務で時間外勤務は増加し、月80時間を超える職員は7月は9名である。

再任用制度は新規採用への影響もあり現在行っていない。今後の動向を踏まえて検討したい。

Q コロナ感染拡大において学校の対策、部活動や修学旅行など学校行事の考え方は？子どもたちのストレスはないか？

A 文科省のコロナ感染症衛生管理マニュアルで対策をしている。部活動は現在、原則中止。修学旅行は感染防止対策を徹底した上で、県内を中心に実施予定。不安に感じている児童・生徒もいることが想定される。万一、感染しても誹謗中傷やいじめなど起きないように、道徳教育や人権教育を通して正しい知識を基に差別や偏見を許さないよう指導している。

Q 家族の介護や心のケアなどを担っている子ども「ヤングケアラー」について、本市での実態は？

A 現在、調査中である。教職員への聞き取りでは、市内に10名程度の児童・生徒がヤングケアラーの可能性がある。

公共交通支援体制

Q コミュニティバスと新イオン前にバスベイによる停留所の設置を？

A コミュニティバスは利用者が希望する時間帯でAI運行をする。バスベイ設置は難しい。バス乗り場は大事なので協議を進めていく。

【その他の質問項目】

◇築城400周年事業に向けて、島原城の入館について、市民の割引制度の導入。市による「さかきばら郷土史料館」の支援を求める。



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

日本一の防災環境都市を目指して2

Q 避難所に指定される学校での備蓄は必要ではないか。公民館との連携が必要になったら取りに行くというが、いざ暴風雨の時はその移動も危険な場合もあり、学校で保管する備蓄が望ましいがどうか。

A 学校での管理場所、管理の方法など難しい問題があるが、学校とも一度相談をしたい。

Q 近年、豪雨災害は毎年のように起こり、大きな河川が氾濫し多大な犠牲をもたらしている中で、大規模な改修が必要とされながらも、莫大な予算がつかず後回しになっている地域は多い。そのような犠牲を出さないため、流域に関係する人はみんなでリスクを共有して、どうにか対策を講じていきましようという流域治水という政策がある。これは、日本一の自主防災会を目指す本市において、全く同じ精神であると思う。

地域に住む町内会自治会だけでなく、学校や企業、病院や福祉施設、官公庁などあらゆる関係者が地域のリスクについて共有しあえる開かれた自主防災会を目指すべきだと思うがどうか。

A いま、地域が一つになって避難訓練をおこなっている。そういったきっかけを得ながら、島原オール地域で取り組みたい。災害は町内会に入っていくが、やはり関係性がないというのではなく、やはり関係性の構築のためには、町内会自治会の活動を通して顔の見える関係で声のかけ合える関係を構築していくことも重要である。そのなかで新たな町内会自治会の在り方が見えてくると思うので、町内会や自治会、自主防災会の更なる強化に向けて頑張りたい。

【その他の質問項目】

◇新庁舎運用開始1年を経過してからの問題点は何か
◇学校イベントについて
◇コミュニティバス「予約・あいのり・たしる号」